



KNX研修センター： 認定までの流れ



KNX認定研修センターとは

世界に数多く存在する研修センターでは、住宅とビルを対象とする制御システムを将来の標準的な設備技術としてとらえ、関連する研修コースを提供しています。

また、こうした研修センターの多くでは、ISO/IEC 14543-3に準拠する住宅とビル制御の世界規格であるKNXに焦点が置かれています。

ブリュッセルのKNX Associationによって規定された要件を満たすコースを提供する研修センター

は、KNXによる認定を申請することが可能です。KNX Associationではこの研修センター認証プログラムを導入し、世界中の機関で実施される「KNXコース」（または同様のコース）での最低要件の準拠を図っています。

このプログラムでは世界31か国で170件を上回る研修センターが認定され、KNX技術に関心を持つ世界中の人々がKNXの認定研修を受講することが可能になっています。これらのセンターでは、KNXの標準化された必要最低限のスキルをすべて習得できます。



KNX認定研修センターのメリット

- 試験に合格した受講生にKNX認定を付与する権限。認定された受講生は、KNXパートナーシップへの申請が可能
- コースに登録した受講生へのETS Liteの無料提供
- ETSライセンスの取得に際して、受講生に割引特典の提供が可能
- KNX認定コースで使用されるETSプロフェッショナルライセンスの大幅な割引
- 常時更新されるKNX電子研修資料の利用
- KNX研修ロゴの使用（レターヘッド、封筒、名刺など）
- KNX Associationのウェブサイトから閲覧可能なKNX国際データベースへのセンター名の掲載（希望する場合）
- 申し込みにより、KNX Journalに無料で掲載
- 受講生への配布向けにKNX Journalを無料で提供
- KNX Associationが主催するKNX研修センター会議への参加資格



KNX認定研修センターの種類

研修センターは、下記のKNX認定を申請することが可能です。

- KNX認定研修センター
ISO-9001の取得の有無を問わず、基本コースを提供する機関としてKNX Associationが認定する研修センター。
- KNX+認定研修センター
基本コースと上級コースを提供する機関としてKNX Associationが認定する研修センター。
- KNX++認定研修センター
講師養成セミナーを提供する機関として認定される研修センター。



KNX認定コース

KNX Associationによって基準化されている3つのコースでは、下記の研修が提供されています。

カテゴリー	KNX基本コース	KNX上級コース	KNX講師養成コース
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ KNXシステムについての考察 ✓ KNX通信 ✓ KNX TP1トポロジー ✓ KNX TP1テレグラム ✓ KNXバス装置 ✓ KNX TP1設備 ✓ KNX送電PL110 ✓ ETSプロジェクト設計：基本 ✓ ETSプロジェクト設計：上級（さらに高度な情報） ✓ ETS試運転 ✓ ETS診断 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フェイルセーフ計画 ✓ フラグ ✓ 暖房 ✓ 総合的な応用 ✓ 統合 ✓ カプラ ✓ 照明制御 ✓ セキュリティ技術 ✓ 論理演算 ✓ 可視化システム ✓ 補助ツール 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研修センター向けのKNX要件 ✓ KNX Associationの構造と取り組みの範囲 ✓ KNXソフトウェア ✓ バスシステムの経緯 ✓ シリアルデータ伝送：KNXプロトコル ✓ マイクロコントローラ ✓ 応用プログラム ✓ IP通信 ✓ KNX製品認定プログラム
試験	<ul style="list-style-type: none"> • 論理 • 実技 	<ul style="list-style-type: none"> • 実技 	<ul style="list-style-type: none"> • 論理
認定証	KNXパートナー	KNX上級パートナー	KNX講師

要件

講師に必要な知識

内部または外部を問わず、KNX認定講師はKNX基本コースの論理研修を実施することが必須となります。KNX認定講師研修は、下記のKNX++認定研修センターで提供されています。

<http://www.knx.org/knx-partners/training-centres/list/>

教材

作業台への設置が必須となる装置は、KNX電源装置、KNXの調光および切替装置、ブラインド制御、ラインカプラです。また受講生のPCには、研修センターが許可したETS Liteのインストールが必須となります。コース登録時に無料で提供され、受講生が自分のノートパソコンにインストールするLiteを使用してもかまいません。

設備

各施設でのKNXコースの実施には、下記設備の設置が必要です。

- 大型プロジェクター
- 黒板（従来のもの、またはデジタルボード）
- ETSプロフェッショナルライセンスがロードされている講師用のPC

会費

KNX認定研修センターの標準的な年会費は500ユーロで、毎年年末に請求されます。



BBS MEハノーバーで実施されるKNX認定基本コースの様子

KNX認定の取得手順

ステップ	内容
登録	<p>KNXの質問票を完成させ、KNX Associationに提出していただきます (KNX認定に加えてKNX+認定の申請を希望する場合は、その旨を記載してください)。登録が完了した研修センターは、最新版のKNX電子研修資料を利用できるようになります。この「登録研修センター」では、KNX技術についての研修を提供できるものの、パートナーシップの申請に必要な認定証を発行することはできません。</p> <p>重要： 登録期間は1年間で失効しますが、延長することが可能です。</p>
承認	<p>最低要件に準拠していることが認められた登録研修センターは、試験を含むKNX基本コースのほか、申請があった場合は上級コースを提供する機関として承認されます。承認の段階で提供可能なコースは、試験を含む2つの基本コース、または2つの上級コースに限定されます。この期間は1年間となります。</p> <p>重要： 承認研修センターでは、認定証の発行が可能な2つのコースを実施することができます。</p>
審査	<p>ISO 9001認証への準拠が推奨されます。</p> <p>この段階では提出される書類に基づいて、KNXのすべての要件に準拠しているかどうか審査されます。</p> <p>重要： 基本コースを提供する機関としてKNXに認定されている研修センターは、上級コースの提供を対象とする認定申請を行うことができます。この場合、追加要件への準拠を証明する書類の提出が必要となります。</p>
認定	<p>提出書類の審査に合格したセンターにKNX認定が付与されます。</p>
監督	<p>要件への継続的な準拠に向け、ISO 9001認証を取得した研修センターではその後3年間、同認証の更新状況を提出することが必要となります。</p> <p>ISO 9001認証を取得していない研修センターについては、KNX Associationが要求した場合、KNX要件に準拠していることを示す書類を必ず提出しなければなりません。これらの書類は、要求から3週間以内にKNXが受領していることが必須となります。また、KNX AssociationはKNX認定研修センターに対して抜き打ち検査を行う場合があります。</p>



連絡窓口/書類提出先

詳細については、下記のKNX認定部門までご遠慮なくお問い合わせください。

電話： +32.2.7758590

Eメール： certification@knx.org

その他の情報については下記URLもご参照ください。

- <http://www.knx.org/knx-en/community/training-centres/about/index.php>
- <http://www.knx.org/knx-en/community/training-centres/joining/index.php>
- <http://www.knx.org/knx-en/community/training-centres/list/index.php>